

7月5日（月）に別府国際コンベンションセンター レセプションホールにて、「深海の秘密セミナー&こども画伯体験」を開催致しました。第1部では、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）の磯部紀之研究員をゲストスピーカーとしてお呼びしました。研究で明らかになった、宇宙よりも到達することが難しいと言われている”深海 6000メートル”を超える超深海

で生活している様々な生き物、実際に深海の底に到達したプラスチックごみを映像で見せていただきました。また、潜水艦「しんかい 6500」に乗り込むときの苦労、潜水艦はどうやって沈んでいくのか？どうやって浮いていくのか？など潜水艦の様々な秘密も教えてください、ワクワク・ドキドキの冒険心をくすぐる講演となりました。イベントの最後には、こどもたちからたくさんの質問がされ、深海に関わる質問だけでなく、「なぜ、磯部さんは深海の研究者になったのですか？」といった未来の仕事を想像するような質問も出てきており、イベントを自分事として聞いていた子どもたちの真剣なまなざしが印象的でした。第2部で、

行われた「こども画伯体験」では、参加者が思い思いの絵を描いておりました。海の中をカラフルに描く子供から、漆黒のディープな海を表現する子供まで様々で、子供たちの感性や表現力の豊富さがあらわれるイベントとなりました。普段なかなか知ることのできない深海の秘密について研究者からお話を”聞く”だけでなく、”描く”というアウトプットの要素をイベントに取り入れることで、情操教育や海への愛を育むきっかけ作りになりました。参加者の皆さんはこの日が、心豊かな一日になったようでした。

イベント概要

- 潜水艦「しんかい 6500」による調査内容
- 深海の生き物やプラスチックごみについて聴講
- プロの美術アーティスト指導のもと絵画を創作
- ・参加人数 50名（親子20組）

